

令和5年2月21日 佐藤

～ 散策して春を先取り！さまざまな種類の梅の花を園内で楽しめます。～

向島百花園で梅まつりを開催中

現在、都立向島百花園（東向島3-18-3）で、3月5日（日）まで、「向島百花園 梅まつり～梅花彩る江戸花屋敷～」を開催しています。園内では白や濃いピンクなど20種類以上の梅の花が咲いており、来場者は、園内で配布されている「梅地図」を片手に、その可憐な姿と、ほのかに甘酢っぱい香りを楽しみながら、カメラでの撮影を楽しんでいます。

真っ白な花びらを咲かせる「冬至梅（とうじばい）」や「白滝枝垂れ（しらたきしだれ）」、濃いピンク色の花びらをつける「唐梅（とうばい）」などが現在見頃を迎えているほか、「青軸（あおじく）」や「見驚（けんきょう）」などといった梅の木も、徐々に花を咲かせており、まもなく見頃を迎えます。園内では、メジロが梅の花をついばむ可愛らしい様子も見られます。

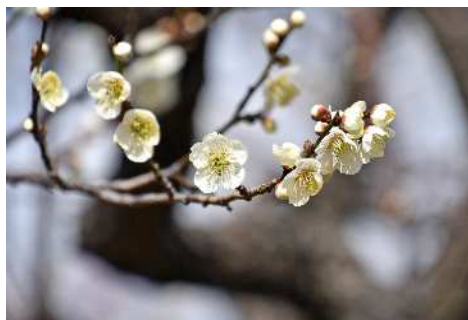
さらに、梅まつりでは梅の花とともに江戸の文化を楽しむことができる催しも開催しています。2月23日（木・祝）には、百花園の楽しみ方を職員が案内する園内ツアー「庭さんぽ」や、25日（土）には園内の野草を講師の解説とともに観察する「野草ウォッチング」、26日（日）には初代園主の佐原鞠塙の出身地である仙台発祥で、葛飾北斎の『北斎漫画』にも登場する「すずめ踊り」が披露される予定。

なお、向島百花園とともに区内の梅の名所として名高い小村井香梅園（文花2-5-8）でも、2月18日（土）から3月5日（日）まで「香梅園梅まつり」を開催しています。

《写真》

梅を撮影する来園者

梅の花の様子



《概要》都立 向島百花園

所在地：墨田区東向島 3-18-3

開園時間：午前9時～午後5時（入園は4時30分まで）

入園料：一般 150円 65歳以上 70円（小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料）

《参考》梅まつりの歴史

都立向島百花園は、江戸の町人文化が花開いた文化・文政期（1804～1830年）に骨董商を営んでいた佐原 鞠塙（さはら きくう）が、交遊のあった江戸の文人墨客の協力を得て、草花鑑賞を中心とした花園として開園。開園当初は360本の梅が主体であったことから、亀戸の梅屋敷に対して「新梅屋敷」と呼ばれ、江戸庶民に愛される名所となった。現在、百花園では「新梅屋敷」の名にふさわしく、20品種以上、およそ70本の梅を楽しむことができるほか、梅以外の様々な植物も見ることができる。

《問合せ》都立向島百花園 03-3611-8705

お問い合わせは午後5時までをお願いします。（広報広聴担当 03-5608-6220）